

第 24 回 未来からの留学生

報告書

香川大学教育学部

第 24 回未来からの留学生を終えて

実行委員長 宮前 淳子

この度、第 24 回未来からの留学生を令和 7 年 10 月 12 日(日)に開催いたしました。事前予約では多くの申し込みをいただき、その中から 500 名近くのみなさまに講座当選のお知らせをお送りさせていただきました。当日は、講座に参加されるお子様だけでなく、保護者の方やきょうだいの皆様など合わせて約 1000 名の地域の皆様が来校してくださいました。ご参加いただき、誠にありがとうございました。

第 24 回未来からの留学生では、例年と同様、事前の完全予約制として午後からの開催といたしました。事前申込型講座では、申込みできるのはお一人 1 講座までとなっておりますが、事前申込型講座の時間以外も楽しんでいただけるよう、いつでも参加可能な自由参加型講座も 6 講座設けました。また、今年も引き続き、香川県教育委員会様のご協力のもと、自由講座として「Zutt Mott ふるさと」が開講されました。当日はお天気に恵まれ秋晴れで、講座で作成した作品等を使って大学構内で元気よく遊ぶ子どもたちの笑顔が印象的でした。

「教育学部フェスティバル」と銘打つ本事業は、大学を地域に公開することにより、本学部と地域を繋ぐ活動として大きな目的をもつ一方、活動の企画や運営を通じて学生自身が子どもとの接し方を学ぶという目的を併せもっております。各領域からの報告には、企画・実践・振り返りを通じた学びの成果や、子どもとのかかわり方への気づき等に関する学生の記述であふれています。これらの記述は、本事業が後者の目的をはたしていることを示しています。本報告書をお読みいただければ、学生の学びの姿とその成長を実感いただけるものと思っております。

最後に本事業は、香川県教育委員会のご後援を受けて実施され、教育学部事務職員、各領域担当教員ほか、多数の皆様によるご協力のもと実施されました。本年度の活動の実施に関しまして多方面からご尽力頂きましたことに深く感謝いたします。

今後も地域のみなさまのご期待に沿える大学となれるよう大学職員一同努力してまいります。どうぞ来年度以降の活動につきましても変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

未来からの留学生

教育学部フェスティバル in 香大

令和7年10月12日(日)

受付： 12時30分～

会場： 香川大学教育学部(幸町北キャンパス)

駐車場がございませんので自家用車での来校はご遠慮ください。

主催： 香川大学教育学部

後援： 香川県教育委員会



申込み：左掲のQRコードよりお申込みください。

受付期間：9月7日(日)10時～9月17日(水)17時まで

※先着順の受付となりますのでご注意ください。各講座の定員に達し次第、締切となります。

問合せ：未来からの留学生実行委員会 future-l@kagawa-u.ac.jp

■ 未来からの留学生について

香川大学教育学部では、未来の「アーティスト」や「科学者」、「学校の先生」などを夢見るみなさんが、いろいろな体験を通して大学のよさを知るための体験入学を企画しました。大学生のお兄さん、お姉さんたちと一緒に、楽しい時間を過ごしてみませんか?ご参加お待ちしております。事前申込型講座はホームページから申し込んでください。

※申込期間：9/7(日)10時～9/17(水)17時 ※先着順

事前申込型講座一覧

受付開始 12:30

1時間目 13:00～13:45 / 2時間目 14:05～14:50



※事前に申し込んで当選した人だけが参加できるよ。時間に遅れないように来てね！

講座番号	1	2	講座名	内容	対象・担当・注意事項																																																																																																																																							
1-1			わくわく！シャボン玉♪	みんな大好きシャボン玉で思いっきり遊ぼう！	幼・小1～6、各20名。吉川暢子、幼児教育コース学生。服・靴が濡れる場合があります。タオル・着替えをご持参ください。																																																																																																																																							
1-2						2-1			お菓子の家を探しに行こう！	ヘンゼルとグレーテルの人形劇が観られるよ！劇の後にはみんなで工作をしよう！	幼・小1～2、各30名。吉川暢子、幼児教育コース学生。	2-2			3-1			昔の遊びとおもちゃで楽しもう！	こま、けん玉、お手玉、めんこ、竹とんぼ、輪投げなどの昔のおもちゃや遊びを体験しながら、楽しく遊ばしましょう。	幼・小1～6、各20名。鈴木正行、社会領域学生。	3-2			4			かたくり粉で作るスライムふうせん	かたくり粉でできたスライムってどんな感触なんだろう…。気になったならやってみよう！	小1～6、24名。松本一範、理科領域学生。ハンカチ、タオルをご持参ください。	5-1			夢化学21 in Kagawa	磁石につく不思議な液体やプニプニボールすくいをして遊ぼう。化学の日の缶バッジや元素記号カルタ等の展示もあるよ。	幼・小1～6、各12名。高木由美子、日本化学会中国四国支部主催行事とのコラボ企画。	5-2			6-1			とべとべ！はっぱヒコーキ対決！	秋のはっぱスタンプで自分だけの飛行機を作って、どこまで飛ばか競争しよう！	幼・小1～6、各20名。山下直子、生活・総合領域学生。	6-2			7-1			和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～	百人一首かるたを使ったゲームを楽しみ、和歌に親しもう！目指せ、かるた名人！	小1～6、各25名。渡邊史郎、国語領域学生。	7-2			8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。	8-2			9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。
2-1			お菓子の家を探しに行こう！	ヘンゼルとグレーテルの人形劇が観られるよ！劇の後にはみんなで工作をしよう！	幼・小1～2、各30名。吉川暢子、幼児教育コース学生。																																																																																																																																							
2-2						3-1			昔の遊びとおもちゃで楽しもう！	こま、けん玉、お手玉、めんこ、竹とんぼ、輪投げなどの昔のおもちゃや遊びを体験しながら、楽しく遊ばしましょう。	幼・小1～6、各20名。鈴木正行、社会領域学生。	3-2			4			かたくり粉で作るスライムふうせん	かたくり粉でできたスライムってどんな感触なんだろう…。気になったならやってみよう！	小1～6、24名。松本一範、理科領域学生。ハンカチ、タオルをご持参ください。	5-1			夢化学21 in Kagawa	磁石につく不思議な液体やプニプニボールすくいをして遊ぼう。化学の日の缶バッジや元素記号カルタ等の展示もあるよ。	幼・小1～6、各12名。高木由美子、日本化学会中国四国支部主催行事とのコラボ企画。	5-2			6-1			とべとべ！はっぱヒコーキ対決！	秋のはっぱスタンプで自分だけの飛行機を作って、どこまで飛ばか競争しよう！	幼・小1～6、各20名。山下直子、生活・総合領域学生。	6-2			7-1			和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～	百人一首かるたを使ったゲームを楽しみ、和歌に親しもう！目指せ、かるた名人！	小1～6、各25名。渡邊史郎、国語領域学生。	7-2			8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。	8-2			9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2								
3-1			昔の遊びとおもちゃで楽しもう！	こま、けん玉、お手玉、めんこ、竹とんぼ、輪投げなどの昔のおもちゃや遊びを体験しながら、楽しく遊ばしましょう。	幼・小1～6、各20名。鈴木正行、社会領域学生。																																																																																																																																							
3-2						4			かたくり粉で作るスライムふうせん	かたくり粉でできたスライムってどんな感触なんだろう…。気になったならやってみよう！	小1～6、24名。松本一範、理科領域学生。ハンカチ、タオルをご持参ください。	5-1			夢化学21 in Kagawa	磁石につく不思議な液体やプニプニボールすくいをして遊ぼう。化学の日の缶バッジや元素記号カルタ等の展示もあるよ。	幼・小1～6、各12名。高木由美子、日本化学会中国四国支部主催行事とのコラボ企画。	5-2			6-1			とべとべ！はっぱヒコーキ対決！	秋のはっぱスタンプで自分だけの飛行機を作って、どこまで飛ばか競争しよう！	幼・小1～6、各20名。山下直子、生活・総合領域学生。	6-2			7-1			和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～	百人一首かるたを使ったゲームを楽しみ、和歌に親しもう！目指せ、かるた名人！	小1～6、各25名。渡邊史郎、国語領域学生。	7-2			8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。	8-2			9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																	
4			かたくり粉で作るスライムふうせん	かたくり粉でできたスライムってどんな感触なんだろう…。気になったならやってみよう！	小1～6、24名。松本一範、理科領域学生。ハンカチ、タオルをご持参ください。																																																																																																																																							
5-1			夢化学21 in Kagawa	磁石につく不思議な液体やプニプニボールすくいをして遊ぼう。化学の日の缶バッジや元素記号カルタ等の展示もあるよ。	幼・小1～6、各12名。高木由美子、日本化学会中国四国支部主催行事とのコラボ企画。																																																																																																																																							
5-2						6-1			とべとべ！はっぱヒコーキ対決！	秋のはっぱスタンプで自分だけの飛行機を作って、どこまで飛ばか競争しよう！	幼・小1～6、各20名。山下直子、生活・総合領域学生。	6-2			7-1			和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～	百人一首かるたを使ったゲームを楽しみ、和歌に親しもう！目指せ、かるた名人！	小1～6、各25名。渡邊史郎、国語領域学生。	7-2			8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。	8-2			9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																
6-1			とべとべ！はっぱヒコーキ対決！	秋のはっぱスタンプで自分だけの飛行機を作って、どこまで飛ばか競争しよう！	幼・小1～6、各20名。山下直子、生活・総合領域学生。																																																																																																																																							
6-2						7-1			和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～	百人一首かるたを使ったゲームを楽しみ、和歌に親しもう！目指せ、かるた名人！	小1～6、各25名。渡邊史郎、国語領域学生。	7-2			8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。	8-2			9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																									
7-1			和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～	百人一首かるたを使ったゲームを楽しみ、和歌に親しもう！目指せ、かるた名人！	小1～6、各25名。渡邊史郎、国語領域学生。																																																																																																																																							
7-2						8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。	8-2			9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																																		
8-1			はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!!	いろいろな国の食べ物やお店をめぐって、クイズに答えよう！スタンプを全部あつめたら、ごほうびがもらえるかも…？	小4～6、各40名。水尾智、ボール・パテン、英語領域学生。																																																																																																																																							
8-2						9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。	10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。	11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。	11-2			12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																																											
9			パイプの外を大冒険！ういてすむナゾのちから！	自分で描いた絵がパイプの外で動いてる?!君の目で確かめてみよう！	小1～6、20名。松本一範、理科領域学生。																																																																																																																																							
10			キラキラ☆手作り万華鏡大作戦	自分だけの万華鏡を作ってみよう！何が見えるかな？	小1～6、12名。尹智博、美術領域学生。																																																																																																																																							
11-1			オリジナルバルーンに挑戦だ！	風船を使って動物やキャラクターを作ろう。大学生と一緒に自分だけの素敵な作品を作ろう！	小1～6、各15名。小方朋子、特別支援教育領域学生。																																																																																																																																							
11-2						12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。	13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。	14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。	15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。	16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。	16-2			17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																																																																
12			おもしろ算数・数学教室	はさみとりのりを用いて、広さを変えないで図形を変身させます。算数が好きな人もきらいな人も、みんなでいっしょに算数を楽しみましょう。	小3～6、10名。杉野本勇気、数学領域学生。のり、はさみ、ものさし、えんぴつをご持参ください。																																																																																																																																							
13			世界に1つだけの“木”-ホルダーをつくらう！	木を使って、世界に1つしか存在しない自分だけのキーホルダーをつくります。絵をかいいたり、色をぬったり、かざりをつけたり…。完成したら、どこにつける？	小1～4、10名。山田貴志、技術領域学生。保護者と一緒に、汚れても良い服装でおこしくください。																																																																																																																																							
14			図形の不思議さ	展開図から組み立てて正四面体、正十二面体など5個の立体を作ります。そして、それぞれの頂点、辺、面の個数を数えて表に記入し、その秘密を明らかにします。	幼・小1～6(親子参加可能)、10名。宮崎華人、数学領域学生。筆記用具、消しゴム、セロテープ(またはのり)をご持参ください。																																																																																																																																							
15			折り紙マンとゆかいな紙々	折り紙マンといっしょに、折り紙を折って切っているいろいろな図形をつくらう。	小1～6(親子参加可能)、10名。高野啓良、数学領域学生。はさみをご持参ください。																																																																																																																																							
16-1			くるくる指編み教室	ゆびが魔法の道具に大変身! ?くるくる編んで、自分だけのオリジナルグッズ!どこでも大活躍のスポンジを作っちゃおう!	小1～6、各10名。一色玲子、家庭領域学生。																																																																																																																																							
16-2						17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。	18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。	18-2			19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																																																																																																	
17	制作	制作	手作り楽器でコンサート♪	身の回りの材料で自分だけのオリジナル楽器を作ろう!実際にmy楽器を演奏してコンサートに参加しよう!	小1～6、10名。戸川晃子、音楽領域学生。																																																																																																																																							
18-1			おはなしの国2025	ようこそ!「おはなしの国」へ!わたしたちといっしょに、げきやダンス、レクリエーションでおはなしの世界をのぞきにいこう!	幼・小1～2、各35名。柘澤利也、教育領域学生。																																																																																																																																							
18-2						19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。	19-2																																																																																																																																
19-1			うんどうあそびの学校	鬼ごっこやボール遊びなど、おねえさん・おにいさんが考えたあそびをしながら、みんなといっしょに体育館を走り回ろう!	小1～6、各30名。上野耕平、保健体育領域学生。体育館シューズをご持参ください。																																																																																																																																							
19-2																																																																																																																																												

※上記講座に当選して大学に来てくれた幼児・児童のみなさんは前後の空き時間でいつでも下記6つの講座に参加できるよ！

講座番号	時間帯	講座名	内容	対象・担当・注意事項
20	13:00～14:50	教育学部SDGs活動紹介	教育学部教員・学生が関わっている SDGs 活動の紹介。自由に立ち寄って見てね。	当選した幼児・児童はどなたでも見学可能です。金網知征
21	13:00～14:50	紙コップワールド	10,000個の紙コップで何が作れるかな?いろんなものを作ってみよう!	当選した幼児・児童はどなたでも参加可能です。吉川暢子
22	13:00～14:50	Zutt Mott ふるさと	ふるさとかがわ百人一首、クイズなどで、ふるさとについて知ろう!!香川の子どもたちに贈る100冊のコーナーもあるよ!!	当選した幼児・児童はどなたでも参加可能です。香川県教育委員会義務教育課
23	13:00～14:50	なりきりアートギャラリー	絵画になりきって写真が撮影できるブースがあります。美術講座の学生が制作した作品等も紹介します。	当選した幼児・児童はどなたでも参加可能です。尹智博、吉川暢子
24	13:00～14:50	模型で見る四国の鉄道	1/80の鉄道模型を展示走行します。	当選した幼児・児童はどなたでも見学可能です。黒田勉
25	13:00～14:50	ゴムゴム★コプター	作って・飛ばして・体験しよう!ゴムの力と回転の仕組みで空を飛ばおもしろく遊ぼう。	当選した幼児・児童はどなたでも参加可能です。吉澤樹理

※当日午前7:00に警報が発令されている場合は実施を中止します。

詳しくは、表(おもて)面のQRコードから「未来からの留学生」ホームページをご確認ください。

※ご来場のみなさまの当日の様子を写真・動画撮影し、事業報告資料や本学部広報資料等に活用させていただく場合があります。ご了承ください。

各講座の報告

わくわく！シャボン玉♪

幼児教育コース 担当学生：中村由起 担当教員：吉川暢子



今年も去年と同様に、シャボン玉の講座を開き、戸外で様々な道具を使ってシャボン玉を楽しみました。そーっと大きいシャボン玉を作って楽しむ姿や、思い切り走りながらシャボン玉を作る姿、シャボン玉を割ることを楽しむ姿、シャボン玉液を泡立てて感触を楽しむ姿など、同じ環境の中で様々な遊びが展開されていました。最後には、片付けを手伝ってくれる子どももいました。

【学生の感想】

シャボン玉を作る道具として、市販されているものをはじめ、ストローやハンガーを利用して作ったもの、ひも状のものなど、様々な素材で、様々な大きさのものを用意しました。小さいものから始める子どももいれば、開けた場所に設置してあった大きな道具に真っ先に向かっていく子どももいて、十人十色な遊び方を展開していた姿が印象的でした。また、講座には、3歳児から小学生高学年までの子どもが参加し、活動の楽しみ方に違いがあった点も印象に残っています。

数組の親子が、活動の後にシャボン玉液の作り方を教えてほしいと来てくれました。この講座が、家での遊びにもつながったと感じられる出来事でした。

片付けの部分で大量の水が必要になるのですが、手軽に運ぶことができる位置に水道が無く、苦戦しました。来年度にはこのことを考慮して活動を計画していきたいです。



幼児教育コース 3年 中村由起

「お菓子の家を探しにいこう！」

幼児教育コース 担当学生：川田鈴奈、林日菜子 担当教員：吉川暢子



今年にはヘンゼルとグレーテルの人形劇を行い、その後、アイスクリームのけん玉を工作しました。

子どもたちは手遊びを大学生の真似をしながら一緒に楽しんでいました。また、人形劇を真剣な表情で鑑賞し、工作も大学生や保護者と一緒に取り組んでいました。

【学生の感想】

人形劇の練習をはじめ、人形劇と繋がりがあって子どもが楽しめるような工作を考え、準備を行いました。

オープンキャンパスでも高校生に向けて同じ劇を行いました。実際に子どもの前で演じるのは初めてだったため不安もありました。しかし本番では、子どもたちが食い入って人形劇を見たり、一緒に手遊びを楽しんだりする様子が見られ、とても嬉しく感じました。

工作では、どの年齢の子どもも飾り付けがしやすいように、シールや折り紙、ペンなどの材料を多く準備したり、子どもがわかりやすいように絵を付けた説明書を作成したりなどの工夫をして準備を行いました。

完成したけん玉で遊ぶ際には難しそうにしている子どももいましたが、成功したときにはとても嬉しそうに大学生や保護者に見せており、その姿が印象的でした。

また、早くつくり終えて長く遊ぶ子どもや、紙コップに絵を描くことを楽しむ子どもなど、それぞれのペースや楽しみ方が異なることを実感し、一人ひとりの個性に合わせた関わりの大切さを学びました。



「昔の遊びとおもちゃで楽しもう！」

領域・コース名：社会 担当学生：小池昇吾 担当教員：鈴木正行



今年は昨年と同様に「むかし遊び」の講座を開き、室内と屋外を広く使い、様々な、「むかし遊び」のおもちゃを使い楽しみました。輪投げの得点を皆で勝負をする様子や、学生が子どもたちに教えてあげる様子など、学生と子どもたちがともに楽しんでいるシーンが多々見られ、笑顔あふれる時間になりました。

◇子供たちにインタビュー

楽しんでいた子どもたちに「どう？楽しい？」と問いかけてみました。子どもたちは、「これやったことなかったのが楽しい」や「これができるようになって嬉しい」などプラスな感想を聞いて良かったです。

◇学生の感想

制作から始まった輪投げは輪投げ制作委員会を設け、役割分担をし、率先して行動できたのが完成につながりました。手の込んだこの輪投げは大変好評で、時間をかけ制作して良かったと思えるようなものになりました。ほかにもこまやけん玉など、学生が事前準備しないとまったくできないものもあり、私たちも「むかし遊び」を楽しむイベントになりました。

このイベントを通して、子どもたちと学生のコミュニケーションをはじめ、多くの学びがありました。子どもたちの視線や表情を見て、何に困っているのか、何ができないのか考えるなど、子ども理解につながる時間でした。また、学生同士のコミュニケーションの場にもなりました。普段、会話が少ない社会科領域ですが、行動を支持しあい、また、協力する一面や、ともに笑顔で楽しむ一面も見られ、とても良い時間になりました。

「かたくり粉で作るスライムふうせん」

担当学生：中学校教育コース理科領域学生 担当教員：松本先生



今年は水とかたくり粉と食紅を使ってスライムを作製しました。水とかたくり粉を混ぜるとダイラタンシー現象が起きるため、私たちが知っているものとは違った感触を持つスライムができます。子どもたちにはその感触を楽しんでもらいました。スライムによって子供の手や服が汚れること、及びスライムを誤って口に入れてしまう事故を防ぐために、スライムを風船の中に入れるという工夫を行いました。



子供たちは自分自身で作製したスライム風船を机上や床に落として遊びながら、風船が弾んだり割れたりしないことを楽しんで確かめていました。さらに、スライム風船と水風船を3階から落とす演示実験も行いました。スライム風船は落としても割れない一方、水風船は落とすと割れるはずでしたが、どちらの風船も割れないという予期せぬ結果になってしまいました。急遽、水量を多くした別の水風船を作り、最終的にはそれを割ることに成功しました。



【学生の感想】

通常とは異なる特別なスライムに触れてもらうために、かたくり粉と水でスライムを作製することにしましたが、その準備期間は「未来からの留学生」開催日までの一週間に過ぎませんでした。そのため、準備不足から水風船を落とす演示実験では予想通りの結果を得ることはできませんでした。ただ、子どもたちは実験中終始楽しそうにしており、私たちも子どもたちと一緒に楽しい時間が過ごせました。

今回、実験を行う前には予備実験を十分に行うことがとても大切であることを痛感しました。来年の教育実習では、理科の実験を行う際には予備実験を念入りに行おうことを肝に銘じました。

「夢化学 21 in Kagawa」

理科領域 4 年：吉野涼 鎌田宙 平松星子 福田嶺 担当教員：高木由美子



「夢化学 21 in Kagawa」は、日本化学会中国四国支部が主催する行事で、化学の啓発や化学産業の社会への貢献についての理解促進を目的として、1993 年から実施されているキャンペーン事業です。香川大学ではこの「夢化学 21」と連携し、毎年関連イベントを開催しています。大学の学生が主体となり、夢化学 21 のブースでオリジナルの実験や、学生が考案した実験を準備し、実施しています。今回の「未来からの留学生」では、昨年と同様に、磁石にくっつく不思議な液体（磁性イオン液体）の合成とぷにぷにボールすくいの二つの活動を用意しました。

磁性イオン液体の合成実験は、児童一人一人が実際に自分で合成できるようにキットを作成し、配布しました。キットでの合成の前に、事前に用意した紙芝居を用いてイオン液体についての説明を行いました。合成実験では、うまくできるように、保護者の助けも借りながら、学生が子どもたちの様子をしっかりと見てサポートできるよう対応しました。磁石で動く磁性イオン液体の様子を、興味を持って観察する子どもたちの姿が見られました。

ぷにぷにボールすくいでは、遊ぶ前に、なぜ液体と液体からボールができるのか簡易モデルを使いながら説明しました。その後、実際にできたぷにぷにボールをすくって、実際に手で触れながら、「ぷにぷに！」「なにこれ!？」と興味津々に観て、触れていました。

どちらのブースでも、子どもたちが「楽しい」「なんだこれ」と言ってくれたことで、理科が好きになる・科学の不思議さ・面白さに触れるきっかけを提供できたのではないかと考えています。次回の開催に向けて、さらに子どもたちが楽しめるよう、改善点を考えていきたいと思っています。

とべとべ！はっぱヒコーキ！

領域・コース名 生活・総合領域 担当学生：田中こひな、西岡七海恵 担当教員：山下直子



令和7年度の未来からの留学生では、落ち葉とアクリル絵の具を用いて、A4のコピー用紙にスタンプをし、その紙で紙飛行機を作成し、実際に飛ばす活動を行った。対象年齢は幼稚園生～小学生とした。当日は、5歳から5年生の児童までが参加してくれた。葉っぱは大学内にある木の根元に落ちているものを使用した。大きさや種類を変えて100枚ほど用意した。絵の具は赤、青、黄、白、黒の5色を中心に用意して、子どもたちが自分で色を混ぜ合わせながら作成できるように工夫した。



この活動の中で、子どもたちは絵の具を用いて各々の好きな色や形を表現したり、紙飛行機の飛ばし方を工夫したりする様子が見られた。葉っぱの柄をより紙に写すには葉っぱのどちらの面に絵の具を付けるとよいのか、何色と何色を混ぜると使いたい色が作れるのか、またどんな色が出来るのか、などいろいろなことを考えながら活動していた。そして、当日は初対面の子どもたちが机を合わせて作業するようにしていたため、お互いにコミュニケーションを取り合って活動する様子が見られた。



この活動を通して、子どもの思考力や表現力コミュニケーション能力の向上を体感することが出来た。また、どれが一番よく飛ぶのか、折り方が難しいのはどれなのか、など各々に目的をもって取り組んでいることを知ることが出来た。さらに、児童との接し方や言葉の選び方を工夫したり、子どもたちの「やりたい！」に応えたりすることで、子どもたちのやる気を引き出すことが出来ることを学ぶことが出来た。

「和の心にふれてみよう～百人一首かるた大会～」

国語領域 担当学生：国語領域学生 担当教員：渡邊史郎



国語領域は、「百人一首」をテーマとした講座を421講義室で開講した。子どもたちを高学年・低学年で分け、「坊主めくり」「源平合戦」の2ブース間を移動して両方の遊びを体験してもらった。人数調整のためもあり、わたしたち担当学生も子どもたちと一緒に参加した。

「坊主めくり」に参加した子どもたちは、坊主を引いて落胆の声をあげるなどしながら、徐々にリラックスして楽しんでいた。終盤まで一枚の札も取れなかった子が大逆転した時には大いに盛り上がり、歓声があがった。ある幼少のきょうだいがルールを理解し、楽しそうに競技していたのも印象に残っている。また、後から参加した子に、子どもたち自身が進んでルールを説明している場面も見られた。子どもたちにより楽しんでもらえるように、講座前日まで、ルールに関して試行錯誤を繰り返したことがよかったと思われる。

一方の「源平合戦」に参加した子どもたちも、一生懸命に札を探し、取れると嬉しそうな笑顔を見せていた。学校の授業で学んだ札をしっかり覚えている子もあり、なかにはわたしたちが太刀打ちできないレベルの技量の子もいた。講座終了後、「もっと練習したい」と言う子がいたことは嬉しかった。また、「気に入ったようなので買ってあげたい」と使用札について尋ねてくださる保護者の方もおられた。

本講座の目的は、かるた遊びの楽しみのなかから、日本の伝統文化への関心を見出してもらうことにもあった。そのため、座布団に見立てたゲーム盤、「和」を感じる装飾なども工夫したつもりである。当日は子どもたちと同じ視点に立つことを重視し、戦況や子どもたちの様子に合わせて声をかけることを心がけた。教育学部生のわたしたちにとって、有意義な試みになったと思う。

国語領域2年 村杉美香

はじめてのおつかい イン・ザ・ワールド!

領域・コース名：英語 担当学生：植野 心 担当教員：Paul Batten・永尾 智



今年は「はじめてのおつかいイン・ザ・ワールド!」と称し、世界各国のクイズを行ったほか、英語で買い物をするという趣旨の活動を行った。初めのほうは自信なさげに注文をしていた子どもたちも慣れてくるにつれ大きな声で注文ができるようになり、中には紙を見ずにひとりで英語を話す子どももいた。に時間を通して、学生・保護者を含め、教室全体が楽しい雰囲気になっていった。

<学生の感想>



準備の段階では、「このような活動で本当に子どもは喜んでくれるのだろうか」と考えていたが、本番では子どもたちがクイズ、お買い物ともに積極的に参加してくれた。導入の部分で行った「SIMON says Game」では、たくさん体を動かすことで子どもたちの緊張がほぐれて行くように見え、時折みられる笑顔にこちらまでうれしくなった。



保護者の方々の中には子どもたちと一緒にクイズやゲームに参加して楽しんでくれる方もおり、やはり教育活動を円滑に進めるには保護者の方々との協力や連携が必要不可欠であることを実感した。また、子ども理解に関して、クイズの際、中高生であれば、間違えることを恐れてほかの人が選択した答えにあわせがちであるが、小学生は仮に間違っていたとしても、自分の答えに自信を持っている様子を感じ取れたので、そのような姿勢は尊重していくべきであると考えた。

「パイプの外を大冒険！ ういてすすむナゾのちから！」

担当学生：小学校教育コース理科領域学生 担当教員：松本一範



今年は浮力と磁力を利用して、テントウムシの模型がパイプの外側を移動するという教材を作製した。塩ビパイプの中に水を満たし、その中に磁石を封入した発泡スチロールを入れた。パイプの上下を入れ替えると、浮力により発泡スチロールがパイプの上端へ浮上する。その様子を視覚的に捉えやすくするために、磁石を封入した発泡スチロールでテントウムシの模型を作製し、その磁石がパイプ内の発泡スチロールの磁石に付着するように、パイプの外側に模型を取り付けた。パイプ内の発泡スチロールの浮上と共にテントウムシの模型もパイプの外側を上昇する様子を観察してもらった。

良かった点は3つある。1つ目は予定していた内容を全て終わらせることができたことだ。2つ目は子どもたちが楽しそうに実験に取り組む姿が見られたことである。3つ目は、子どもたちがこの実験で作った作品を持ち帰ることができたことだ。

反省点としては、大学生が事前にやっておくべき作業で、不備が多かったことだ。テントウムシの模型に磁石を封入する際、磁石の位置がずれ、パイプに上手く付着しない模型もあった。しかし、それがすぐに修正できたことは良かった点である。他にも、水位線が誤った位置に引かれていたことが原因で水を多く入れてしまったパイプでは、テントウムシの模型が上昇しないこともあった。これらの不備を踏まえると、全体としてもっと早くから準備作業に取り組むべきであった。夏休み中に全員が集まり、話し合ったり予備実験をしたりする時間を設けて、もっと実験内容を詰めるべきであった。

10. キラキラ☆手作り万華鏡大作戦

担当学生：美術領域生

担当教員：尹智博先生



本講座では、万華鏡の中の反射板の組み立てから、中にビーズやスパンコールを入れる作業、外側の装飾まで子どもたち自身が行き、オリジナルの万華鏡を制作しました。子どもたちは「ビーズなどのキラキラはどれくらい入れたらいいのか」「外側の装飾はどうしようか」など試行錯誤したり、周りの子が作っている万華鏡の中を覗いてみたり、学生が作った試作品を参考にしながら、オリジナルの万華鏡を作り上げていきました。

学生による事前準備では、ビーズやスパンコール、折り紙、テープなど多様な材料を用意し、子どもたちが自分の発想を自由に表現できるように工夫しました。また先輩や先生方にアドバイスをいただきながら通し練習も行い、子どもたちに伝わりやすい説明の仕方を学び、子どもたちがより楽しみながら作業を行える様なプログラムの構築を行い、本番当日に繋げることができました。

講座の本番では、子どもたちが、星型のキラキラをたくさん入れたり、青色で統一してみたり、時間いっぱいオリジナルの万華鏡を作っている子どもたちの楽しそうな姿が見る事ができて、私たちも楽しい気持ちになりました。最後に、子どもたちが作った万華鏡を交換し合い、自分の万華鏡と比べながらアイデアを共有する「発表会」の時間を設けました。子どもたちは、お友達の万華鏡をのぞき込みながら「すごい!」「きれい!」と声を上げていました。

本講座を通して、子どもたちを前にしてスムーズに授業を進めることの難しさを実感しました。事前に練習をしても当日は予定していた時間配分と違っていたり、想定していなかった質問が投げかけられたりと、授業づくりで大切にすべきことや自身の課題を考えるきっかけとなる講座となりました。

美術領域 2年
久保花音

オリジナルバルーンに挑戦だ！

領域：特別支援教育領域 担当学生：特別支援教育領域学生 担当教員：小方朋子



特別支援領域では、「オリジナルバルーンに挑戦だ!」という講座を開設し、1年生から6年生までの児童を対象にバルーンアートの体験活動を行った。活動では、犬・花・剣・ハートスティックの4種類の作品を用意し、子どもたちが自分の作りたいものを選び、大学生と一緒に作成できるようにした。ブースごとに担当学生を配置し、児童が自由に行き来できる形式とすることで、興味関心に応じた柔軟な参加を促した。

事前準備の段階では、子どもが自分の好きな色で作成できるように多くの色のバルーンを揃えた。また、活動スペースの周囲に椅子を配置し、保護者が様子を見たり、荷物を置いたりできるように配慮した。さらに、作品の中でも人気が予想された犬のバルーンには、目をつけるためのシールとペンを用意した。シールの大きさによって表情が変わること、児童によって手先の器用さが違うことを踏まえて、大小3種類を準備し、子どもが自由に選べるようにした。このように、子どもの個性が表れるような工夫を随所に取り入れた。

活動当日は、予想以上に積極的に取り組む姿が見られた。はじめは大学生と一緒に作っていた児童も、二回目には自分でバルーンをねじって作品を完成させるなど、短時間で大きな成長を見せた。出来上がった作品を嬉しそうに保護者のもとへ持っていき、「見て!」と笑顔で見せている姿も印象的であった。また、犬の作品に目のシールを貼るだけでなく、自分で模様を描き加えて、自分の作品に仕上げる児童もおり、創造的な表現を楽しむ様子が見られた。

子どもとのかかわりの中で特に意識したのはコミュニケーションの取り方である。話しかけても反応が少ない子どもには、選択肢を提示して答えやすくするようにした。例えば、「この色とこの色、どちらが好き?」「犬と花だとどちらを作りたい?」といった二択の質問を行うことで、子どもが無理なく自分の意思を表現できるようになった。このような声掛けを通して、子どもの気持ちを尊重しながら活動を進めることができた。

今回の活動を通して、子ども一人ひとりが自分のペースで参加し、達成感を味わえるような支援の大切さを実感した。特別支援領域では、子どもの特性や反応をよく観察し、それに応じて関わり方や支援の方法を工夫することが求められる。今後は、より多様な子どもたちが安心して、楽しめるよう、環境面や教材の準備、支援の言葉かけなどをさらに工夫できるようにしたい。

(特別支援教育領域2年 上野葉月)

おもしろ算数・数学教室

担当学生：教育学部数学科学生 担当教員：杉野本 勇気



今年は「図形のふしぎ」をテーマに、図形を切ったりくっつけたりして異なった形を作る講座を行いました。私たちが提示したスタート図形から子どもたちは自由な発想でそれらを組み合わせ、ゴールの形を次々と生み出していきました。中には、想定もしていなかった切り方でゴールとなっている形を作る子もおり、自分たちも思わず感心してしまいました。最初は難しいと感じていた子も、周りの友だちの発想に刺激を受け、次第に自分なりの工夫を取り入れて楽しんでいました。



【学生の感想】

最初は、「図形の切り方や組み合わせ方が難しく子どもには難しいかもしれない」と思っていました。しかし、実際には子どもたちの柔軟な発想力によって、予想以上に豊かな作品が次々と生まれ、こちらが驚かされる場面が多くありました。また、私たち学生が少しヒントを出すことで、新しい発想につながっていく様子を間近で見ることができ、とても嬉しく感じました。



今回の講座を通して、子どもたちが楽しく学べるようにするためには、内容だけでなく「準備の仕方」や「サポートのタイミング」が非常に大切だということを改めて実感しました。どのような教材を用意すれば子どもが興味を持ちやすいか、どの順番で説明すれば理解しやすいかなど、事前に考えることの重要性と同時に、実際の場面で柔軟に対応する難しさも学びました。今後の授業づくりにこの経験を生かしていきたいと思います。

(領域・コース名) 小学校コース 2年
前岡青空

世界に1つだけの“木”ーホルダーをつくろう！

担当学生：技術領域学生 担当教員：山田貴志



技術領域では、6月頃から「未来からの留学生」のホームページ制作を行った。所々に、ユーモアを取り入れながら、開催に関する情報や応募フォームなどの必要な情報を盛り込んだ。制作中は、たくさん子どもたちに楽しんでほしいという気持ちを胸に取り組んだ。

当日は、参加者が3つのグループに分かれ、技術の学生のサポートのもと、世界に1つだけの“木”ーホルダーづくりに取り組んだ。技術の学生が事前に用意した木材や各種道具を使って、まずは、木の端材を選び、紙やすりで表面をなめらかに整えた後、色塗りや装飾を行った。子どもたちは思い思いのデザインを描きながら、保護者や学生と作品を創り上げた。完成後には、子どもたちのやりきった後の充実した笑顔と楽しい会話が広がっていた。



制作の合間には、学生が子どもたちに素材の扱い方を教えたり、完成した作品を紹介したりする場面も見られ、教室中が温かい雰囲気にも包まれていた。完成した“木”ーホルダーは、どれも個性にあふれ、子どもたちの発想力や創造性を感じられる作品となった。



一連の活動を通して、子どもたちが、ものづくりなど技術分野に関連した内容に少しでも興味を持ってくれていることを期待している。そこから、楽しさを味わうとともに協力し合う姿勢や達成感を得ることができた。

大学生にとって、子どもたちと関わる貴重な経験をすることができ、次年度の教育実習にもつながるとも良い機会となった。

技術領域 2年

篠倉幸太

横山慧篤

図形の不思議さ

担当学生：教育学部数学科学生 担当教員：宮崎隼人



今年は、5種類の正多面体を展開図から組み立てる活動を通して、「面・頂点・辺の数の関係」を明らかにすることを目標として実施した。オイラーの定理は高校数学で学ぶ内容であり、小学生や幼稚園児にとっては難しく、内容理解に関してはうまくはできなかったようだ。しかし、立体を作る際に保護者と共に楽しく作っている様子が見えたと感じた。

【学生の感想】

立体を考えやすくするために正多面体の模型を授業内で作った。また、授業内での模型作りに困らないように模型の展開図に折り目をつけるようにした。しかし、準備段階からオイラーの多面体定理を説明しても小学生には分からないのではないかと懸念があった。当日の名簿を見ると参加者は幼稚園児や小学低学年が多く、実際、授業時にそのようになってしまった。しかし、授業自体は子供たちも楽しく受けられ、工作も保護者の方と楽しくしていた姿を見て準備を頑張った良かったと感じた。

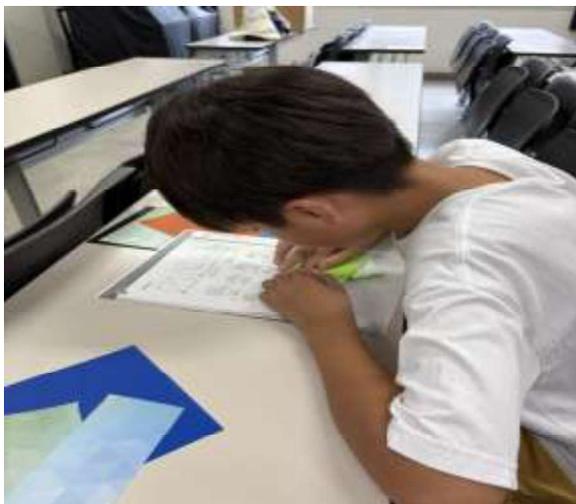
このイベントでは、学びもあった。それは、授業準備の大切さだ。正多面体の模型がうまく作れるかどうかを確認したり、折り目をつけたりしておくことで当日、模型作りに時間がかからないようにでき、楽しんでもらうことが出来たと感じている。それと同時に参加する子供たちがどのくらいの年齢層なのか確認しておくことが重要であると感じた。小学校中学年、高学年であればもう少し理解してもらえるかなという内容で低学年、幼稚園児には難しい内容であったので取り扱う内容をもっと簡単にすべきであると感じた。

数学領域2年 中本翔也



「折り紙マンとゆかいな紙々」

領域・コース名：数学領域 担当学生：中尾・滝・亀代・白神 担当教員：高野先生



◎内容

・児童を計9名招き、45分の切り絵の講座を開いた。

・用意した資料から好きな図形を選んでもらい、ハサミを使うのは一つの図形に一度だけということを目指して、大学生と一緒に折り紙を折った。

・ハロウィンが近いということもあり、部屋にはパンプキンやお化けの折り紙を飾り付けを行った。

・また、タイトルに折り紙マンという名前が入っているため、代表の大学生がマントと仮面を付けて、折り紙マンになりきった。

◎感想

準備段階で、子どもたちが少しでも楽しめるように単色の折り紙だけではなく、柄がついた折り紙や大きさの違う折り紙を用意したことで、折る前の折り紙を選ぶ時から楽しむことができていた。折り方が簡単なものから難しいものまでさまざまな資料を用意し、簡単なものは自分の力でサクサクと進められていたが、難しいものは大学生や保護者と一緒に考えていくことができた。そのように自分で頑張った折り紙に、はさみを入れたときに、開く前に「ちゃんとできとるかなあ」や、開いた後に「めっちゃきれいにできとる！」というような声が聞こえてきて、常に楽しんでもらえた。反省点としては、資料に書かれている折り方が難しいため、事前にもっと練習をしておくべきだと感じた。また、どれだけ難しい折り方でも、自分が作りたいものがあつた時には、ためらうことなくチャレンジする姿やそれを常に楽しんで取り組む姿があることなどを、本講義を通して改めて知ることができた。子供たち・保護者・大学生全員が楽しむことができる授業になり、とても貴重な時間となった。

くるくる指編み教室

領域・コース名：家庭領域 担当学生：家庭領域学生 担当教員：一色玲子



家庭領域は、被服学実習室で指編み講座を開催し、子どもたちは毛糸を使って個性豊かな作品を制作しました。最初こそ戸惑いがあったものの、ものづくりに日常から親しみ、比較的慣れている子が多かったため、積極的に楽しんで参加していました。自由に色を選び、ビーズやヘアゴムで飾り付けることで、創造力を発揮しながら世界で一つだけの実用的な作品を完成させていました。

【学生の感想】



子どもたちが自由に選べるよう、10色程度の毛糸を用意し、ビーズやヘアゴムで飾り付けることで、個性的かつ実用的な作品が完成しました。お気に入りの作品を嬉しそうに持ち帰る姿が印象的で、活動を楽しんでいる様子が伝わってきました。「お母さん毛糸買って」「家でも作りたい」などの参加者の声も見られました。指編みは道具が不要で家庭でも簡単にできるため、保護者からも好評で、作り方について熱心な質問が寄せられました。子どもたちは試行錯誤しながら独自のアイデアを形にし、学生の試作品にはなかった発想が多く見られ、創造力の豊かさに驚かされました。一方で、毛糸に印をつけて準備したことで絡まりが発生し、開始が遅れるトラブルもありました。今回の改善点を活かし、今後は一人分ずつ切り分けるなど、動きを想定した工夫が必要だと感じました。毛糸やビーズの種類の豊富さは活動の魅力を高める要素であり、今後の企画にも活かしていきたいです。



家庭領域 2年
水口藍・有本佳蓮

手作り楽器でコンサート♪

領域・コース名：音楽領域 担当学生：音楽領域学生 担当教員：戸川晃子



今年は身の回りの使わなくなった廃材などを利用して作る手作り楽器を作り、それを使ってコンサートを行いました。子ども達は楽器作りに夢中で、休憩時間も使って世界で一つだけの楽器を作っていました。コンサートではペットボトルの蓋やヨーグルトのカップ、お菓子の箱などから、様々な音が奏でられていました。

【学生の感想】

楽器作りに使う廃材にはペットボトル、牛乳パック、ヨーグルトのカップなど様々な物を用意し、音のバリエーションを増やしました。どの子どもも楽器作りに夢中で、自分が作りたい楽器を一生懸命作っていました。事前に大学生もお手本としていくつか楽器を作ったのですが、子どもたちは「これを使う」と進んで廃材を選び、ドラムセットやマラカス、サクソなど、私達が思いつかなかったオリジナリティのある楽器を作り出しました。実際に演奏をすると、カンカン、シャカシャカ、トントンといった様々な音が奏でられていました。音楽領域の学生と一緒に素敵な音楽を楽しく演奏することができました。



このイベントは今年度新たに企画した物で、子どもの姿を予想することが難しかったです。子ども達が上手く活動ができるようにイベントの進行を考えて準備することで、参加した子ども達に楽しんでもらえたと感じました。また、今回は大学生が作った見本の楽器だけ用意してどのような楽器を作るのかは指定しない形にしました。その結果、子ども達が各自の想像力を膨らませ工夫しながら楽しむことができたのではないかと思います。

おはなしの国2025

領域・コース名教育 担当学生：教育領域2年生 担当教員：柗澤 利也



今年も「おはなしの国2025」と題して、レクリエーションとダンス、そして劇を行いました。最初は緊張していた子たちも最後には笑顔になっていて、保護者の方からも褒めていただくことが多くありました。

【学生の感想】

今年は、開始までの暇つぶしとしてお絵描きコーナーを設けました。大きな紙に子どもたちが思い思いに絵を描くというもので、開始直前まで描いてくれる子も多く、良い取り組みであったと思います。ダンスとレクリエーションでは、壇上の学生がにこやかに披露し、話してくれたおかげでほとんどの子どもが参加することができていて、子ども達の緊張をほぐすことができていたと思います。さらに、劇では役者のそれぞれが創意工夫を凝らしてくれたおかげで、子ども達が飽きることなく最後まで参観することができただけでなく、観覧席の保護者や高校生からも笑いが聞こえることもありました。このような結果が得られたことは、壇上上がった学生はもちろん、ブルーシートの上で子どもと触れあってくれた学生や劇中の道具を作成し、照明や音響、受付などの裏方を滞りなく進めてくれた学生たちの力によるものが大きいと感じています。

今回のイベントでは思い出だけでなく、学びも多くありました。それは、子ども一人ひとりの実態に合わせて触れ合うことの重要性和難しさです。当日はとても恥ずかしがりな子や、ずっとつむいているような子もいました。そういった子には「一緒にやろう」といった声掛けをして楽しさを共有する形で参加を促すことが効果的であったと感じます。それと同時に、こちら側が用意した活動を強制せず、子どもの興味関心にゆだねる姿勢も大切なのではないかと考えました。

教育領域2年 劔持和彦

うんどうあそびの学校

領域・コース名：保健体育領域 担当学生：保健体育領域学生 担当教員：上野耕平



私たちは、45分間を前後半に分けて主に2つの競技を行いました。楽しむこと、安全面、この2つを大切に、子供たちが分かりやすく、飽きないように試行錯誤しました。

当日は、45分間疲れ果てるまで楽しんでくれて、特に大きなトラブルもなく、子供たちも私たち自身も最後まで笑顔で終えることができました。

ここからは、各種目に分けて報告させていただきます。

【風船バレー（写真上）】

前半は風船バレーを行いました。一班6人程度でチーム分けをし、ラリーつなぎ、走って風船のどこまでいって落ちないようにするゲーム、風船を運んでゴール（段ボール）に入れる競争、この3つのゲームを行いました。風船の良さである、やわらかいという安全面と、動きがゆっくりで考える時間があり、小学生でも簡単に楽しめるという点から風船バレーを選び、そこにチーム分けをして競争できるようにすることで飽きずに夢中になってもらえるように工夫しました。

私たちは、1チームに2人ずつついて説明の補足、誘導等を行い、全体でプレーのサポートを行いました。

結果は、自分たちが思っていた以上に熱中してくれて、盛り上がりました。ただ、プレーの中で接触が見られた点は、気を付けるべきだったのかと思います。

【ボール運びゲーム（写真下）】

ボール運びゲームでは、攻めチームと守りチームに分かれ、時間内にボールを何個運べるか競いました。各チームにサポートとして大学生がつくことで、ルールの理解や作戦の決定などの支援をしました。児童達に、考えながらたくさん体を動かしてもらうことが出来ました。

講義終了後には、おしゃべりやハイタッチしに来てくれる小学生や、挨拶に来てくださる保護者の方が多くいらっやあって、私たちも頑張っよかったなととても達成感がありました。

保健体育領域 2年

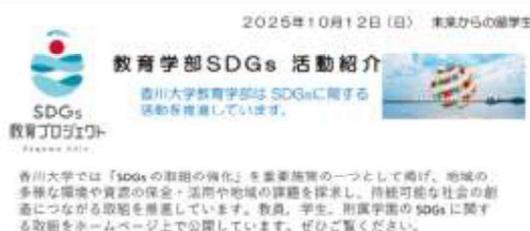
三好雄也・十河慮

教育学部 SDGs 紹介

担当：金網知征

SDGs（持続可能な開発目標）は、国際社会における多様な課題に対する意識の啓発と、その解決に向けた行動を促すものであり、地球規模の課題への挑戦であるとともに、国や地域が直面している社会的課題の解決に寄与するものです。香川大学では「SDGsの取組の強化」を重要施策の一つとして掲げ、地域の多様な環境や資源の保全・活用や地域の課題を探索し、持続可能な社会の創造につながる取組を推進してきました。2021年12月には「SDGs推進タスクフォース（TF）」を設置し全学的な推進体制で活動に取り組んできました。

教育学部も、その活動に積極的に参加し、教育学部の教職員、学生、附属学園のSDGsに関する取組のホームページ上で公開に協力してきました。さらに、SDGs教育プロジェクトとして、教育学部の教職員、学生、附属学園が行っているSDGs教育に関する活動を資金援助したり、独自のHPやポスターなどで広報するなど様々な後方支援をしたりしています。今回の未来からの留学生でも、自由参加型講座として、未来からの留学生に参加してくれている児童やその保護者、オープンキャンパスに参加してくれている高校生、そして未来からの留学生を盛り上げている教育学部学生にその活動を紹介する取り組みとして、香川大学教育学部のSDGsの取り組みを紹介し、SDGs教育プロジェクトのロゴが入った缶バッジを配布しました。多くの子どもと保護者が訪れてくれ、来訪の人数は250人になりました。



多くの子どもは学校でSDGsについて学んでおり、教育学部で行っているSDGsの取り組みにも興味をもってくれました。教育学部の学生としてこの活動が今後ますます広がっていくといいなと思っています。



香川大学 SDGs ホームページ

https://www.kagawa-u.ac.jp/sdgs_action/

(文責：藤原 敬大)

紙コップワールド

幼児教育コース 担当学生：幼児教育コース学生 担当教員：吉川暢子



今年も去年と同様に、紙コップの講座を開きました。室内で、人通りのある415前で行ったことや、事前の申し込みなしでも参加できるようにしたことから、たくさんの親子が参加してくれました。

講座では、約10000個の紙コップを用意し、自由に積み上げたり、並べたり、それをとしたりして遊ぶ姿が見られました。また、保護者の方は、そばで見守る方や、子どもと一緒に協力して、紙コップを高く高く積み上げたりする様子が見られ、中には子どもを肩車している保護者の方もいて、親子で活動を楽しんでいたように感じました。



今回の講座を通して、紙コップと言う単純な素材でも、発想次第で十人十色でたくさんの遊びが生まれることを改めて実感しました。

子どもたちは試行錯誤しながら協力し、失敗をしてもあきらめず、どうすれば積んでいけるのか考えながら慎重に遊んでいるように見えました。

幼児の参加者からは、そこら中に落ちている紙コップを、ボールプールのように集め、感触を楽しんでいる姿が見られ、それぞれの子どもが自分なりの楽しみ方をしていました。



幼児教育コース 3年 中村由起



ZUTT MOTT

ふるさと



担当：香川県教育委員会事務局義務教育課
& 学生ボランティア

〇しおり・缶バッジ作りコーナー

香川の名所・特産品のシールを貼ったり、自由にイラストを描いたりして、しおりを作りました。缶バッジ作りも人気でした。



〇かがわふるさと百人一首体験コーナー

(必勝講座・かるた体験)

「かがわふるさと百人一首」のかるたを学生ボランティアと対戦したり、家族で体験したりと楽しむ姿が見られました。



〇ふるさとクイズコーナー

(かがわふるさと写真クイズ)
ふるさとの写真カードを使った神経衰弱ゲームを楽しんでいました。



(かがわふるさと城郭クイズ)

香川のゆかりのある武将や城についてのクイズに挑戦していました。あまりの難易度に保護者も苦戦し、親子で真剣に考えていました。



〇香川の子どもたちに贈る100冊コーナー

(読書、読み聞かせ、読書クイズ)

本に親しむ姿がたくさん見られました。クイズに答え、もらった読書バッジをうれしそうに持って帰っていました。



〇受付(スタンプカード→イベントロゴバッジ)

兄弟で出来上がったバッジを誇らしげに見せ合うなど、笑顔にあふれていました。



香川県教育委員会が令和4年度に開発した教材「かがわふるさと百人一首」や、ふるさと写真クイズなど、楽しみながら、ふるさとの「人・もの・こと」を知る機会となりました。また、県教委選定の「香川の子どもたちに贈る100冊」のコーナーでは、読み聞かせやクイズなど、読書に親しむことのできる活動を行いました。興味をもった方に広く参加いただけるように、県教委の「さぬきっ子あいさつ運動キャラクター」の「おはっぴー」を活用して集客し、会場内には途切れることなく活動する子どもたちの姿がありました。子どもたちがふるさとのことを「知りたい」と思ったとき、より主体的に関わり、自由に表現できる活動内容になるように、さらなる改善をしていきたいと思ひます。



23. なりきりアートギャラリー

担当学生：美術領域生 担当教員：伊智博先生、吉川暢子先生



本講座は自由講座として「模擬教室(24の瞳)」で行われた。展示空間の中には、来場者がアート作品の一部になれる「なりきりアート」として、ムンクの「叫び」やダ・ヴィンチの「モナリザ」、ゴッホの「ひまわり」、岡本太郎の「太陽の塔」などのアートパネルを設置し、多くの来場者たちが作品の一部に「なりきり」、たくさん子どもたちや保護者の方々が参加し、各々、自由に名画の

背景看板前で撮影をし、独自の写真作品を完成させていた。

また同会場内に、美術領域生が作成した絵画作品や陶芸作品などを展示した「アートギャラリー」も運営し、美術領域生たちが子どもたちから絵の描き方について質問を受け、様々な美術に関する体験の場を構築する事が出来ました。

未来からの留学生 報告書

生活・総合領域 4年 大久保衣純・長松倫花

未来からの留学生では、「ゴムゴム★コプター 作って・飛ばして・体験しよう！ーゴムの力と回転の仕組みで空飛ぶおもちゃづくりー」という講座を実施し、当日学生サポートとして参加させていただいた。講座では、子どもたちに牛乳パックでできたプロペラや輪ゴム、ストロー等が入ったゴムゴム★コプターの製作キットを渡し、事前に準備した制作工程の動画を視聴しながら制作してもらった。当日は講座に160名を超える子どもたちとその保護者の方に参加してもらえ、たくさん子どもたちと実際にかかわることができた。

制作中の子どもたちは動画を視聴しながら、「こんな感じかな？」と自分の手を動かして制作に夢中になって取り組んでいた。子どもたちの中には途中でうまく作ることができずに困っている子どももいたが、動画をじっくり見ながら何度もやり直したり、友達と見比べたりして試行錯誤を繰り返し、完成へと近づいていっていた。一緒に来た保護者の方と協力したり、学生に質問したりしながら少しずつ完成に近づいていく様子がとても印象的だった。途中で手を止めることなく、最後までやり遂げようとする姿勢から、子どもたちの粘り強さや探究心を感じることができた。困っていたらそっと手を差し伸べることも大切だが、子どもが自分1人で何とか最後までやり遂げようと頑張っているのを見守るということも大切であることを改めて実感した。さらに、友達同士で参加している子どもたちが分からないところをお互いに教え合い、意欲的に活動している様子も印象的であった。この様子を見て、協働的な学びが学習意欲の向上につながることを改めて実感することができた。

完成した瞬間には「できた！」と笑顔を見せる子どもが多く、試行錯誤しながら制作したことに達成感を感じている子どもの様子を窺うことができた。帰るときには「早く飛ばしたい！」と話す子どももいて、ものづくりを通して学ぶ喜びや期待を感じている様子が伝わってきた。実際に飛ばすもうまく飛ばすことができずに困っている子どももいたが、何度も何度も高く飛ぶまで挑戦し続けており、高く飛んだときには「高く飛んだ！」と万遍の笑みであふれていた。

本講座に学生サポートとして参加させていただき、子どもたちの頑張る気持ちや楽しむ力の大きさに改めて気付いた。また自分たち自身も子どもと関わる楽しさややりがいを実感することができた。実際に夢中になりながらものづくりに取り組んでいる子どもたちと関わる機会は少ないので、改めて気付くことも沢山あり、非常に貴重な機会となった。この場で得た学びを、今後の大学生活での学習や教員になってからの子どもたちとの関わりの中で生かしていきたい。